

まんぎょう えいじ  
萬行 英二



自己紹介：

特に、開発・労働・健康の分野で、**人的資本形成に格差が生じるメカニズム**について興味があり研究しています。Ph.D.（経済学）はミシガン大学で取得しました。

研究内容：

研究内容は、一言で言えば、**因果推論**で、端的に言えば、「**A が B を引き起こした**」ことを**実証的に示す**（データを使って証拠を提示する）ことです。

例1：（開発途上国において）清潔な水を使えるようになると子供の健康は改善する。

例2：大規模な不景気が起こると社会的格差は拡大する（例えば、低所得層の家計ほど子どもの大学進学が困難になる）。

指導内容：

- ① 修士の学生は、経済学研究において、なぜ因果推論が重要なのか、なぜ困難なのかを理解することから始めます。その後、経済学の実証分析における因果推論の方法を学習していきます。
- ② 博士の学生は、因果推論の研究プロジェクトを自ら企画し実行します。入手可能なデータで因果関係に近づくためには、きらりと光る研究アイデアが必要です。